

# こんにちは 松坂みち子 です

日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告  
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< 267 2016.4.6 連絡先 402-1622 >



## 「安倍政権から9条守ろう！」

「サウンド・ウォーク・フェスタ 民主主義は黙らない」（同実行委員会主催）が3月27日実施され、200人がパレードしながらアップビートでの「戦争反対」「民主主義ってなんだ」「これだ」などをコールし、沿道の注目を集めました。

和歌山城西の丸での全体集会で「安保法制の廃止を求め和歌山の会」の由良登信弁護士は和歌山での野党統一候補づくりについて、市民が擁立する候補者が生まれれば、共産、民主、社民の各党とも統一候補とする確約をもらっていると報告。「憲法違反の安保法制に賛成した議員を再び通すわけにはいかない。自公政権の暴走を止めよう」と訴えました。和歌山大学生の服部涼平さんは、29日の戦争法施行で目には見えなくとも僕たちの生活は確実に変わっていくと述べ、「僕たちには社会がおかしいという権利がある」と訴えました。（和歌山民報より）



集会で報告する由良弁護士

## 党が「保育」緊急提言

・30万人分（約3000カ所）の認可保育所を増設  
・保育士賃金10万円引き上げと配置基準の引き上げ

日本共産党の小池副委員長・政策委員長は5日、記者会見し、閣の緊急対策は、規制緩和と詰問題の根本に、認可保育所が少め込み、保育内容の切り下げを行わないこと、保育士の労働条件がものだと批判し、右記の提言を劣悪であることを指摘。安倍内閣の緊急対策は、規制緩和と詰め込み、保育内容の切り下げを行うもので公的責任を放棄するものだと批判し、右記の提言を発表しました。

### みち子のひとりごと 地震

4月1日の地震にはびっくりしました。ちょうどその時間は市役所の3階にいて、揺れそのものは大きくはなかったのですが（帰宅後母に聞くと、マンションの7階はかなり揺れたそうです）、事前の「お知らせ」にびっくりしたのです。

たまたま電話中だった携帯が耳元で「ぶー」と震え、共産党議員団の控室に置いてある「緊急告知ラジオ」が、「20秒後に地震が来ます。身の安全を確保してください。10秒後に震度3の地震が来ます」とと繰り返し大きな音でしゃべったのです。それを聞いて、とりあえず棚を抑えて身構えたところ、その予告通りに揺れが来ました。

地震が来る前に何秒かでもあれば、より安全なところに身を移すことも可能です。今回は幸い大きな地震ではなかったのですが、マグニチュード8から9クラスの地震がいつ起きてもおかしくないと言われているからこそ、今回のことは貴重な体験だったと思います。



## 本人に声をかけてね

「何かお手伝いしましょうか」。電動車いす利用の友人2人と地下鉄に乗ったとき、同じ車両にいた男性が私に声をかけてきました。特に困ったことはないのに、大丈夫だと返事をしました。私たちと男性は偶然、同じ駅で下車。エレベーターを待っていたところ再度、男性は「本当に大丈夫ですか？」と声をかけてくれました。

...親切心をありがたいと思いました。ただ、声をかけられたのは一緒にいる私だけでした。なぜ友人に聞かなかったのか。彼らの尊厳を傷つけたのではないか。そんなことを考えながらも、カフェで友人とたわいもない話をしながらケーキをいただきました。

...1日、障害者差別解消法が施行されました。同法は、障害者に対し、障害を理由に差別することを禁じます。

例えば、車いすを理由に入店を断ることはできません。

...内閣府のリーフレットには、本人を無視して介助者や援助者、付添いの人だけに話しかけることが、禁止される具体例に上がっています。悪意を持って障害者を差別する人は多くない。けれど、知らずに差別に当たる行為をしてしまうこともあるでしょう。差別解消法を広く知ってもらい、障害の有無で分け隔てられることなくとも暮らせる社会をめざしたい。(亜)



こんにちは

## 坂口多美子です

日々の生活に欠かせない公共交通機関のひとつが鉄道ですが、近年、駅の無人化が増大し、安全性や利便性について様々な不安が寄せられています。

先日、大阪・和歌山の地方議員とともに南海電鉄本社に行き要望書を提出、交渉を行いました。南海は経営上の問題を理由にしていますが2014年度の決算をみると業績は好調です。「無人駅で子どもがホームと列車の隙間に転落した」「バギーが挟

まれ引きずられる事故があった」など人命にかかわる事故も起きています。命を守るのか、利益を優先するのかが問題だ」と各地の議員はそれぞれ詰め寄りました。南海はカメラやインターホンなど遠隔操作で安全は確保できているといいますが、住民から寄せられている声は切実です。

私からは、住民の声を真摯に受け止め、公共交通機関の責任、企業の社会的責任を果たしてほしいと訴えました。



### 戦争・空襲体験者交流会 4月12日(火) 13時~15時 ビッグ愛9階会議室

あの戦争で最もよく協力した私たちは、最も大きな犠牲を払いました。その言葉にもならないほどの苦しみを誰に告げることができたのでしょうか。戦前戦中、「お国のために」と叫んできた私たち、今こそ声を上げるときです。その時の思いを、出来事を分かち合いませんか？交流を深めませんか？気軽にお越しください。お待ちしております。

申込先 戦争・空襲体験伝承者の会  
電話・Fax 422-0938(林口)